

コンピュータチェック事例コード

48SJ991040403 その他 4事例グループ化

コンピュータチェック内容

コンピュータ断層撮影の算定があり、摘要欄に部位コメントがあり、傷病名欄に当該コメントの部位に係る傷病名がない場合に、チェックを実施。

コンピュータチェック根拠

コンピュータ断層撮影を算定する場合は、撮影部位を選択して記録するとされており、傷病名とコメントの撮影部位が不一致の場合、入力誤りを確認するためにチェックを実施しています。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 50.20%
- 検証対象都道府県 47

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	富山、滋賀、石川、三重、新潟、山形、長崎、群馬、福井、鳥取、秋田、栃木、北海道、岐阜、兵庫、茨城	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	岐阜、和歌山、東京、佐賀、山形、静岡、大阪、愛知、三重、愛媛、長崎、徳島、富山、岡山、香川、山梨	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	群馬、滋賀、山梨、富山、京都、長崎、長野、山口、奈良、茨城、兵庫、千葉、山形、宮崎、沖縄、岡山	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	10,179件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	5,110件
検証を必要とする審査	請求どおり	5,069件

